

あなたの暮らしのなかに図書館を。

インターネット時代に図書館はいらない？いえいえ、あなたの身近にある市立図書館、使い方次第でなかなか便利なのです。

昭和62年11月3日に開館した小郡市立図書館は、昨年の秋に開館20年を迎えました。開館当初の登録者は1万人にも満たない数でしたが、今年度4月の統計では31,082人、約3.7倍もの増加です。

あらためて、「たくさんのご利用ありがとうございます！」でもその一方で、まだまだ図書館に足を運んだことがない人や便利なサービスをご存じない人がおられるのも事実です。もっとたくさんの方にご利用いただけるよう、図書館の便利なアコレをご紹介します。



図書館で本をさがすには？

図書館で本をさがすには、次の方法があります。

自分でさがしたい場合は――

蔵書検索用端末をご利用ください

図書館の入り口を入った正面に、蔵書検索用のパソコンが2台あります。

このパソコンは、銀行のATMなどと同じように操作がタッチパネル式になっていきますので、パソコンが苦手な人でも簡単に使うことができます。画面の「書名」や「著者名」など、何から探すかを選んだら、あとはパネルの文字盤で入力するだけ。図書館に所蔵している場合は、どこにあるのかが「貸出中」か、現在の本の状態がわかります。

お探しの本がないときは…

「貸出中」か、あいにく、所蔵していないためです。

どちらの場合も、「リクエスト予約」をしていただくと、さまざまな方法でご用意いたします。手続きは簡単、リクエストカードに書名などの必要事項を記入するだけです。

貸出中の場合は、ご希望の本に予約がかり、返却されたら取り置きをします。所蔵していない本は、新たに購入するか、

日常のなせつぷりって？

日常生活で、「なせつぷり」ってどうすればいい？と疑問が起ころうたら、図書館へ行ってみましょう。

図書館や読書という言葉から「文学」を連想する人も多いと思いますが、図書館には、医療や法律、経済、教育など生活に密着した内容の本もたくさんあります。

そして図書館では、レファレンス・サービスといって、どんな本を使って調べれば

また、探した本の情報をレシートに印刷することができ、書棚を探しに行くときにメモをする必要もありません。

お手伝いが必要な時は――

図書館職員に声をかけてください

探している本の書名が思いまいない時や著者がわからない時でも、あきらめないで、カウンターの職員に声をかけてください。相談内容を手がかりにお探しします。

また、図書館の本は書棚だけでなく、本を保管する「書庫」や、移動図書館車にある場合があります。パソコンで探出した本がどこにあるかわからない時もお気軽にお尋ねください。

所蔵している図書館から取り寄せます。この方法を図書館では「相互貸借」といって、全国の図書館の本がその対象になります。リクエストの本が用意できたら、指定の電話番号へ連絡します。

人気の高い本など、用意ができるまでに時間がかかることもありますが、読みたい本を確実に手に入れる便利なサービスです。利用しない手はありません。

ばよいかの、「調べもののお手伝い」をするサービスがあります。

現在、小郡市立図書館には約20万冊の本や雑誌があり、そのたくさんの中からは必要とする情報を手に入れるのはたいへんです。

そんな時こそ、どうぞ、図書館スタッフをご活用ください。

「出かける」サービスへ

以前の図書館は、図書館で市民の皆さんが来館するのを待つことが主流でしたが、いまは、皆さんのもとへこちらから出かけていくサービスも増えました。

現在、小郡市立図書館で取り組んでいる「出かける」サービスをご紹介します。

移動図書館

「しらすぎ号」
図書館から離れた地区にお住まいの人や図書館まで出かけるのが困難な人のために始めたサービスです。移動図書館車で市内23か所のステーションを巡回しています。

利用券は図書館と共通で、しらすぎ号でも作ることができます。

図書館で借りた本を返したり、希望する本をあらかじめ電話で図書館に申し込んでおけば、お近くのステーションで借りることもできます。

図書館まで行く時間がない人にはとても便利です。

「しらすぎ号」の巡回予定表は、図書館やしらすぎ号でお配りしていますし、3・6・12月の広報「おしらせ版」(15日発行)にも掲載しています。

宅配サービス

来館が困難な身体に障害をお持ちの人や一人暮らしの高齢者に向けた、ご自宅まで本

を配達するサービスです。

図書館にご連絡をいただいた後、職員がご自宅を訪問して、宅配の方法などをご説明します。

ご利用を希望される人は、ご相談ください。

ホームページ

図書館のホームページをご覧になったことがありますか？
「蔵書検索」やおすすめの「新刊本の紹介」など本を探すのに役に立つページや、図書館の催しのご案内などの情報が満載です。
ぜひ一度、のぞいてみてください。

いろいろなところと連携しています。

図書館は、皆さんの役にたつ施設であるよう努力していますが、図書館だけの力では十分なサービスができないこともあります。そこでさまざまな機関や施設と協力しながら運営をしています。

《学校図書館との連携》

図書館では、一般の人と同じように子どもたちへのサービスにも力を入れています。読書は子どもの成長に必要なものだからです。
そこで、子どもたちが一日のうち長い時間を過ごす、学校の図書館を充実させることも大切だと考えています。

子どもたちが学校図書館の本を使って「調べ学習」や「総合学習」に取り組む時に、より満足のいく学習ができるように、また、「朝の読書の時間」や休み時間に読む本が不足しないように、図書館の本を学校へ貸出して応援しています。

この学校図書館への支援は、平成18年度から図書館の中に事務局を置く「学校図書館支援センター」に引継がれました。そこで図書館は、センターと協力しながら、ひき続き学校への支援を行っています。

利用案内

- 開館時間 午前10時～午後6時
*金曜日は午後8時まで
- 休館日 毎月第1・3月曜
最終水曜日
特別整理期間(2週間程度)
年末年始

小郡市内にお住まいの方、通勤通学されている人ならどなたでも、本・雑誌10冊AV資料2点まで借りることができます。また、久留米広域圏内にお住まいの方も、ご利用になれます(但し、本・雑誌5冊まで)。詳しい内容は、ホームページをご覧ください。

小郡市立図書館



《ブックスタート》

「ブックスタート」とは、赤ちゃんを保護者が、一緒に絵本を開くことで、お互いにゆつくりと向き合い、楽しいあたたかい時間をもつことを応援する運動です。

最初は、1992年に英国で始まった運動ですが、日本でも、2000年に紹介されると全国的に広がり、小郡市では2003年から始まりま



▲ブックスタートの様子

した。
小郡市のブックスタートは、10か月児健診の最後に、絵本2冊と赤ちゃん向けの絵本のリスト、子育ての情報などを布製のバックに入れた「ブックスタート・バック」をプレゼントしています。
もちろんブックスタートは絵本をプレゼントすることが目的ではありません。プレゼントの前に赤ちゃんとの絵本の楽しみ方などを、実際に絵本を読みながら説明いたします。
小郡市では、このブックスタートをはじめにいたり、図書館と健康課で研修や協議を重ね、協力をしながらこの運動を続けています。